

2005年6月15日

「MCCI 世界商品指数」(略称:MCCI)の開発と発表について

三菱商事は、世界の商品市場の総合的な動向を示す指数として「MCCI 世界商品指数(略称:MCCI)」を開発し、6月15日から毎日ロイター通信およびブルームバーグニュースを通じて世界に向けて発信します。

MCCI とは

中国、インド、ブラジル、ロシアなどの経済成長が持続することにより世界的に原油や非鉄金属などの需要が高まったこと、さらにはヘッジファンドなどグローバルな金融市場の資金が流入することなどの理由により、米国をはじめとする商品市場が活況を呈していますが、株式や債券といったいわゆる「紙の資産」から「実物資産」に世界の投資マネーがシフトするなか、日本においても2005年4月のペイオフ完全解禁を契機にそれまでの資産運用を見直す動きが加速し、商品市場に目を向ける投資家も増えてきています。MCCI は商品投資をおこなうにあたってのベンチマーク(比較評価基準)として開発されたものです。

MCCI の特徴

商品市況の代表的な指標としては、これまでリサーチ会社や金融機関などから発表されている指数が一般的に知られていますが、原油や貴金属、穀物など主要なコモディティの実物取引に直接かかわっている企業が開発し発表する世界初の国際的な商品指数です。

MCCI は、エネルギー、金属、穀物、ソフト・コモディティ(コーヒーや砂糖など)畜産の5つのセクターから19の商品を選択しています。構成商品は世界経済に影響力をもつこと、発達した先物市場に上場されていること、ファンダメンタルのデータを取得できることなどを条件に当社が選定していますが、構成商品の配分比率は生産量や主要市場における取引のボリュームなどのデータを使って算出されます。又、米国だけでなく英国や日本など世界の市場に分散を図っていることや先物市場の流動性を構成割合の決定要素のひとつとして設定するなど、「分散」と「流動性」に重点をおいたインデックスとなっています。

更に MCCI は、有識者、商品先物市場の専門家に加えて当社におけるそれぞれの商品

関連部局のメンバーが参加する委員会により、市場環境や需給状況の変化に対応してインデックスの構成銘柄や比率が毎年見直されるとともに、適正な運営が行われているか監査されます。

三菱商事は、今後、MCCIの認知度を深めていく活動を展開し、各種金融機関に幅広く活用されることを目指しています。

以 上